

## そばをめぐる情勢

農林水産省生産局生産流通振興課 高橋貴與嗣

### 1. はじめに

そばの伝来については諸説あるようですが、原産地は中国雲南省周辺で縄文時代に我が国に伝わったと言われています。<sup>※1</sup>

そばは、タデ科ソバ属の1年生草本で、収穫までの日数が短いことや、乾燥に強く吸肥性にも優れていることから、救荒作物として普及・定着し、幅広い地域で栽培されるようになりました。我が国の食生活には無くてはならない麺、菓子の原料としてのみならず、焼酎やお茶の原料、そして、最近ではスプラウト(新芽)の原料としても利用されています。

そばの需要は年間13万～15万トン程度で堅調に推移していると考えられており、年末に突出した需要のピークがあるほか、7～8月を中心とした夏季に需要期を形成していることが特長となっています(図1)。このうちの3万トン程度が国産そばで賄われています。

また、現在では、蕎麦打ちを楽しんでいる人も

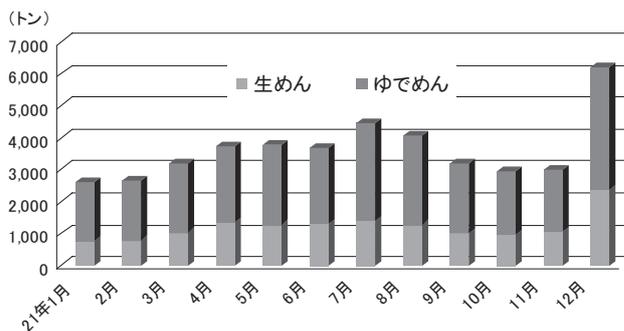


図1 日本そばの生産動態

※ 農林水産省総合食料局「米麦加工食品の生産動態等統計調査」(農林水産省総合食料局)より推計

数十万人に達すると言われており、そばは、単に食欲を満たすだけでなく、多くの人々の心も豊かにする作物として我が国に定着しています。ここでは、そばの生産・流通事情等を中心に説明したいと思います。

### 2. 国内生産の動向

我が国のそばの生産動向ですが、平成22年産では作付面積が4万7,700ha、収穫量は2万9,700トン、10a当たり収量は62kgとなっています。都道府県別では、北海道が面積、生産量ともに1位で、作付面積は1万5,400ha、収穫量は1万1,100トンとなっており、単収は、作柄の悪かった前年産に比べて53%も上回ったものの、開花期から収穫期までの高温の影響により登熟期間が短縮され、未熟粒が多く発生したこと等の要因により、平均収量対比96%の72kg/10aとなっています。次いで、山形、福島、福井、長野等と続いており、上位11道県の作付面積の合計は3万9,200haで全国の約8割を占めています。

ちなみに、前年の平成21年は大変な不作

#### ○各地域の主な栽培期間

	播種期	収穫期
北海道	6月上旬～6月中旬	8月下旬～9月下旬
東北	7月中旬～8月上旬	10月上旬～10月下旬
関東	7月下旬～8月下旬	10月中旬～11月中旬
北陸	7月下旬～8月下旬	10月中旬～11月中旬
東海	9月上旬	11月中旬
近畿	8月上旬	10月下旬
中国・四国	8月上旬～8月下旬	10月上旬～10月下旬
九州	8月上旬～9月中旬	10月下旬～12月中旬

表1 平成22年産そばの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

区分	作付面積	10 a 当たり収量	収穫量	前年産との比較					(参考)	
				作付面積		10 a 当たり収	収穫量		10 a 当たり平均収量対比	10 a 当たり平均収量
				対差	対比	対比	対差	対比		
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	kg
全国	47 700	62	29 700	2 300	105	…	…	…	…	…
うち北海道	15 400	72	11 100	500	103	153	4 100	159	96	75
(参考)主産県計	39 200	61	23 900	1 400	104	153	8 600	156	95	64

- 全国の10a 当たり収量、収穫量、10a 当たり平均収量対比及び10a 当たり平均収量については、主産県調査であった平成21年産において全国値が存在しないため、前年産との比較及び(参考)の欄を「…」とした。
- 「(参考)主産県計」は、平成21年産における主産県(北海道、青森県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、新潟県、福井県、長野県及び兵庫県)の11道県について、平成22年産の結果を積み上げ集計し、参考として掲載した。
- 「(参考)10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a 当たり収量の比率である。

農林水産省「平成22年産そばの作付面積及び収穫量」

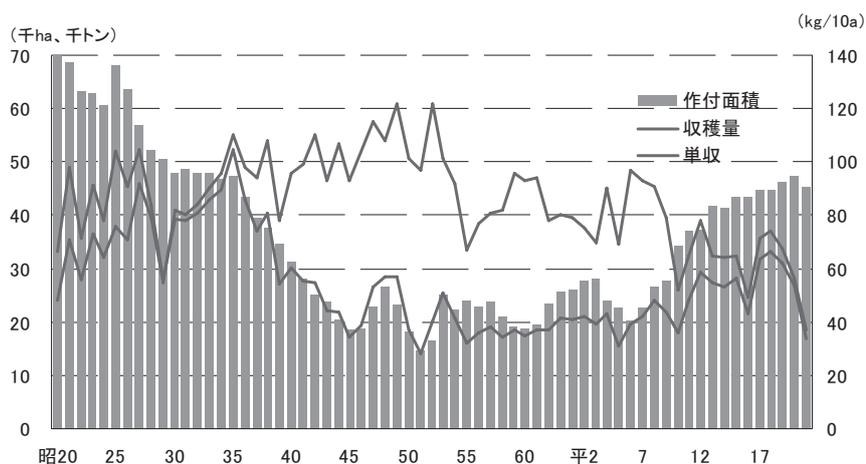


図2 そばの作付面積及び収穫量の推移

資料：農林水産省統計部「作物統計」等

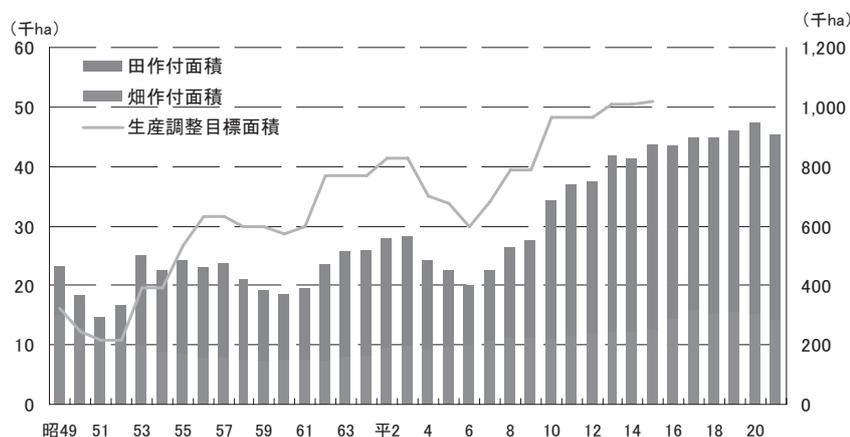


図3 そばの作付面積及び米の生産調整目標面積

資料：農林水産省統計部「作物統計」等

で、全国の作付面積の3割強を占める北海道において、7月中下旬の低温、日照不足、また、多雨による湿害が発生したことに加え、福島県等においても7月下旬から8月上旬の降雨による発芽不良等により生育が抑制されたことにより、主産道県の単収が40kg/10a(平均収量対比60%)と大幅な減収となりました。

図2では、第二次世界大戦後のそばの栽培面積と収穫量の推移をグラフ化してみましたが、面積・収穫量ともに大変不安定であることがお判りいただけると思います。

統計を遡ってみると、そばの作付面積のピークは、明治31年(1898年)の179千ha、収穫量が最大だったのは、大正3年(1928年)の154千トンですが、それ以降、減少の一途を辿り、昭和51年(1976年)には15千ha、収穫

量は14千トンにまで減少しています。しかしながら、それ以降増加に転じて今日まで増加傾向で推移しています。図3には、生産調整の面積の推移と、そばの田畑別の面積をグラフ化しましたが、水田での栽培の面積と生産調整の動きがほぼリンクしていることが出来ると思います。かつては、救荒作物として、中山間地等の傾斜地など条件の良くない土地を中心に、小規模で栽培されていましたが、現在は転作田を中心とした平坦部でのそば生産が拡大し、機械化栽培が普及しています。

国内生産の課題は、いかに生産の安定化を図っていくかに尽きると言われています。近年の天候不順や異常気象等、さらには花粉を媒介する昆虫の動向等生産者の努力や工夫だけでは回避できない要因もありますが、関係者の協力により対策を講じていく必要があります。

### 3. 輸入及び海外の動向

そばの輸入は、殻が付いたままの玄そばの状態です。輸入されるものと、殻を取り除いた抜き実の状態です。近年は抜き実の輸入割合が増加しています。

図4は国内生産量と輸入量を合計した国内消費仕向量をグラフにしたものです。昭和に入ってから、国内のそばの作付面積の減少に伴って、生産量も増減を繰り返しながら減少傾向で推移して

きました。そのような中、戦後の昭和27年（1952年）に南アフリカから輸入が開始され、その後、1963年には所謂日中覚書貿易により中国からのそばの輸入が始まり順調に拡大してきました。2009年（平成21年）の玄そばの輸入実績は59,649トンで、そのうち中国が43,654トン（73.2%）、ついで米国が15,219トン（25.5%）となっており、この両国で98.7%を占めています（表2）。また、抜き実では31,235トン（玄そば換算で41,154トン）<sup>※2、※3</sup> 輸入されていると推計されています。

「蕎麦」というと我が国の固有の食文化と思いがちですが、そばは世界各地で様々な形態で食べられています。ロシアやウクライナではカーシャといわれる蕎麦粥、インドやネパールではロティ、チャパティやナンの材料として、またフランスではガレットなどとして食べられています。<sup>※4</sup>

中でも生産量・消費量が多いのはロシア、ウクライナですが、昨年、これらの国においては観測史上最悪とされる猛暑と干ばつに見舞われ、穀物全般が大幅な減収となったことから、大量のそばを中国からスポット買いで輸入したと言われていいます。このため、中国から我が国に輸入されるそばの価格も大幅に上昇し、特に、昨年11月と12月は玄そばのCIF価格が米国のものを上回りました。また、抜き実のCIF価格も年初に比べて2倍以上の上昇となっています（表2）。さらに、中国

の産地では、ロシア向けにそば調製施設が建設されたとの情報もあり、2000年代に入って小麦を中心とした穀物輸出国となったロシアの今後の政府の対応と穀物需給の動向が、中国のそばの生産・流通の動向にも影響を及ぼすものと考えられます。

表3は世界のそば生産量上位国の生産動向の推移ですが、上位3カ国のうち、ロシア、ウクライ

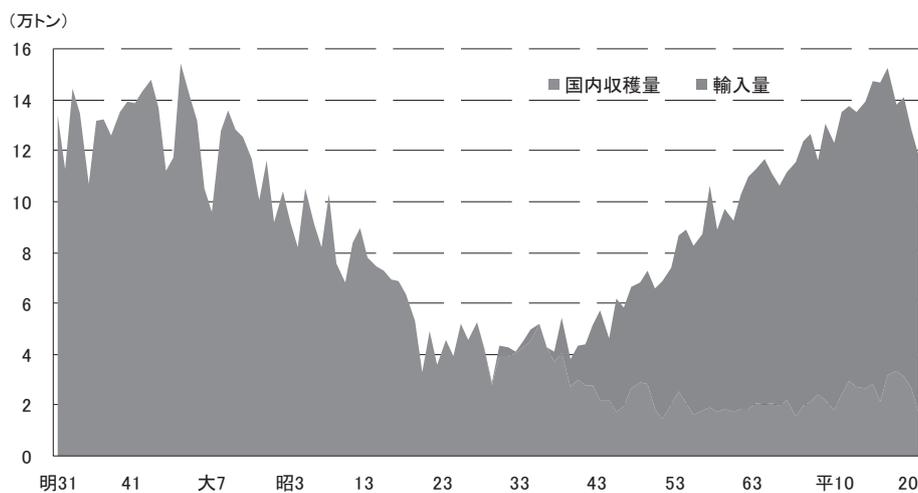


図4 そばの国内消費仕向量の推移

資料：農林水産省統計部「作物統計」等、貿易統計  
注：輸入量は、玄そば（1008.10-090）と抜き実（1104.29-300）の中国産を玄そば換算（75.9%）した合計である。

ナの作付面積は大幅に増減していますが、中国は減少傾向ではあるものの比較的安定した動向を示しています。しかしながら、長期的には減少傾向で推移していることや、収量が大幅に減少していることなどの懸念材料もあり、これまで安定した調達先であった中国の動向について注視していく必要があるようです。

特筆すべき事項としては、毎年、ミャンマーからもごくわずか(2009年(平成21年)は72トン、2010年は103トン)ですが輸入されています。これは、ミャンマー北東部シャン州におけるケシ代替作物の導入のため、1996(平成8)年から我が国の蕎麦関係者の幅広い協力のもとに取り組まれた技術協力プロジェクトの成果によるものです。現在は民間事業へ移行し、シャン州内の3地区で栽培が続けられていましたが、うち1地区は2009(平成21)年8月の武力衝突が原因で栽培が中断されているようです。<sup>※5</sup> 残念ながら、現地の栽培指導体制の問題や、中国雲南省と接した北東部山岳地帯から陸路でベンガル湾に面した最大都市のヤンゴンまで陸上輸送で南下し、マラッカ海峡経由で輸送せざるを得ないこと等、品質保持やコスト面において解決すべき課題が多く、毎年数コンテナの輸入が継続しているという状態ですが、今後の中国の動向いかんによっては、海外からの調達ルートの多元化の選択肢として、再びミャンマーが注目される可能性も高いと考えられます。

#### 4. 新たな施策の展開

昨年3月に公表された食料・農業・農村基本計画では、平成32年のそばの国内生量を約6万トンと、現状の約2倍強の増加を見込んでいます。これは、国産そばは輸入そばに比べて風味の良さや安心感が評価されていることから、夏期休閑地を活用した作付の拡大や、さちいずみ等の収量性に優れた新品種の普及を前提に見通したものです。

今後とも、収量性に優れた新品種の育成・普及と水田の団地化や排水対策の徹底により、目標の実現に向けていくこととしています。

また、今般、そばも戸別所得補償制度の対象作物とされ、平成23年度から1俵45kgあたり15,200円の助成金が支払われることになりました。

本制度の実施に当たって、現在、農産物検査の原則義務付けや売渡数量の確認等を要件とすることなどを検討中です。生産から流通に携わる関係者の皆様にとっては、これまでより手間が増えることになると思いますが、国内生産の安定化のため、本制度の円滑な運用のためのご協力をお願いする次第です。

#### 5. おわりに

単身世帯や高齢世帯の増加、食の簡便化志向等から、「食の外部化」の進展は今後とも継続する可能性が高いと推測されていますが、短期的には、長引く景気低迷の中で節約志向等が強まる等厳しい環境にあり、飲食業界・小売業界は、これら消費者の生活スタイルの変化や多様化への対応を迫られています。

これまで、そばは生産性が低く、かつ収量が不安定であり、玄そば価格も乱高下するのがその特徴とされてきました。国産そばの需要を拡大していくためには、消費構造の変化に対応し、消費者への安定供給のために国内生産の変動の幅を縮小していくことが鍵となります。消費者の信頼と期待に応えて国産そばの生産が拡大することを期待しています。

#### 参考文献等

- ※1：農林水産省統計部「統計ダイジェスト」
- ※2：2010年1月から輸入統計品目番号1104.29-310「その他の加工穀物(そばのもの)」が新設。それ以前については、輸入統計品番号1104.29-300「その他の加工穀物」のうち、中国からの輸入実績全量をそばの抜き実と推計。
- ※3：換算率75.9%
- ※4：氏原暉男
- ※5：在ミャンマー日本大使館

表2 そばの輸入実績

2-1. そば1008.10-090(税率:9%)

暦年	中国			アメリカ合衆国			カナダ			オーストラリア			ニュージーランド			ミャンマー			その他			計		
	輸入量 (MT)	輸入額 (千円)	単価 (円/MT)																					
1995	81,350	1,919,410	23,484	15,277	295,187	52,312	5,909	269,222	46,700	573	41,850	73,072	436	19,783	45,374	389	3,499	24,994	103,931	3,049,241	29,387			
1996	70,401	2,431,412	34,622	12,974	735,027	56,500	4,093	239,091	51,658	513	84,957	70,029	116	55,79	48,095	53	3,460	65,283	89,072	3,481,926	39,091			
1997	86,916	2,631,718	30,342	7,187	426,187	59,300	9,633	469,512	48,730	908	85,803	64,497	1	543	543,000	104,647	77	3,062	39,766	104,647	3,619,232	34,585		
1998	82,098	2,893,850	35,246	8,466	548,315	64,787	7,714	445,940	57,693	986	103,412	104,987	19	563	29,632	19	563	29,632	99,959	3,994,044	40,198			
1999	87,813	2,231,145	25,431	8,139	470,262	57,799	5,445	273,537	50,236	1,561	157,715	10,035	272	20,073	73,798	60	1,625	27,083	103,290	3,156,357	30,558			
2000	81,848	2,015,188	24,513	7,922	419,985	52,515	5,968	251,759	42,178	834	86,734	70,424	459	29,567	64,460	18	635	35,276	97,050	2,775,888	29,603			
2001	82,460	2,138,801	25,913	4,148	228,001	54,884	4,148	228,001	54,884	856	89,171	80,807	470	31,574	75,176	109	4,938	48,211	92,722	2,755,688	29,700			
2002	80,018	2,093,583	26,401	5,632	351,179	62,354	3,023	161,442	52,664	677	74,876	10,603	155	10,509	67,800	39	1,030	28,410	91,966	2,693,268	29,700			
2003	80,800	1,712,480	21,194	7,048	387,880	55,035	3,033	160,442	52,664	833	107,876	10,603	322	25,846	80,267	3	588	198,000	91,966	2,664,262	25,110			
2004	78,730	1,973,336	25,077	7,578	420,332	55,475	1,963	107,876	52,664	833	107,876	10,603	307	24,739	80,583	88	3,222	39,249	89,541	2,621,437	29,725			
2005	63,563	2,254,715	35,481	10,432	624,741	60,023	4,417	393,445	89,253	746	134,760	10,659	233	22,604	9,703	316	49,526	3,633	73,523	3,051,174	41,603			
2006	66,383	2,239,915	33,741	11,976	799,597	66,659	5,624	363,445	60,253	746	134,760	10,659	233	22,604	9,703	316	49,526	3,633	73,523	3,051,174	41,603			
2007	46,368	2,231,365	48,847	14,013	1,131,753	79,640	2,989	163,995	71,251	139	31,506	13,393	84	10,403	23,699	62	2,907	38,206	62,944	3,021,693	47,759			
2008	46,368	2,231,365	48,847	14,013	1,131,753	79,640	2,989	163,995	71,251	139	31,506	13,393	84	10,403	23,699	62	2,907	38,206	62,944	3,021,693	47,759			
2009	43,654	1,772,438	40,602	15,219	1,248,643	82,043	337	291,166	86,546	223	24,558	10,126	101	12,529	124,050	43	2,026	47,116	59,649	3,093,550	51,863			
2010	43,654	1,772,438	40,602	15,219	1,248,643	82,043	337	291,166	86,546	223	24,558	10,126	101	12,529	124,050	43	2,026	47,116	59,649	3,093,550	51,863			
H21	1,352	166,595	46,509	1,734	117,637	67,833	1,352	166,595	46,509	1,734	117,637	67,833	1,352	166,595	46,509	1,734	117,637	67,833	1,352	166,595	46,509	1,734	117,637	67,833
H22	2,358	204,572	48,336	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617	1,387	93,785	67,617
H23	3,948	191,251	48,443	3,903	93,564	24,007	146	11,670	70,932	29	2,767	95,414	146	11,670	70,932	29	2,767	95,414	146	11,670	70,932	29	2,767	95,414
H24	4,100	219,720	51,883	1,730	121,541	70,255	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677
H25	6,558	341,194	58,430	1,268	92,834	73,213	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677
H26	6,558	341,194	58,430	1,268	92,834	73,213	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677	16	3,276	105,677
H27	2,344	140,117	59,802	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184	1,016	68,259	67,184
H28	2,664	147,352	55,292	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525	200	13,705	68,525
H29	1,084	117,177	57,187	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684	306	22,735	67,684
H30	1,539	154,416	63,848	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684
H31	1,539	154,416	63,848	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684	152	10,500	67,684
H32	1,936	605,972	76,357	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684
H33	1,936	605,972	76,357	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684	3,029	211,581	69,684
H34	51,788	3,135,067	60,537	16,870	1,160,980	68,819	193	15,209	83,884	799	92,651	115,959	46	4,925	107,065	103	4,675	45,388	466	17,270	37,060	70,265	4,431,777	63,072

2-2. そばの抜き実1104.29.300および1104.29.310(17%)

暦年	中国			その他			計		
	輸入量 (MT)	輸入額 (千円)	単価 (円/MT)	輸入量 (MT)	輸入額 (千円)	単価 (円/MT)	輸入量 (MT)	輸入額 (千円)	単価 (円/MT)
1995	1,401	59,577	36,098	1,401	59,577	36,098	1,401	59,577	36,098
1996	2,338	120,939	52,141	2,338	120,939	52,141	2,338	120,939	52,141
1997	2,968	159,488	53,766	2,968	159,488	53,766	2,968	159,488	53,766
1998	4,100	219,720	51,883	4,100	219,720	51,883	4,100	219,720	51,883
1999	5,659	203,854	34,846	5,659	203,854	34,846	5,659	203,854	34,846
2000	3,637	289,343	33,602	3,637	289,343	33,602	3,637	289,343	33,602
2001	11,318	371,285	33,335	9	2,209	245,581	11,327	373,494	33,303
2002	16,760	545,842	32,668	79	4,738	60,096	16,839	550,580	32,697
2003	20,637	544,092	26,365	79	4,738	60,096	20,716	548,830	26,365
2004	27,145	333,016	30,726	39	2,450	67,052	27,184	335,468	30,711
2005	26,937	1,053,816	39,136	156	12,736	81,853	27,093	1,066,552	39,141
2006	24,864	1,171,776	47,128	174	20,040	114,973	25,011	1,191,749	47,190
2007	24,564	1,247,176	50,774	74	3,572	13,005	24,612	1,260,753	50,756
2008	25,728	1,245,472	48,416	224	3,572	13,005	25,952	1,258,477	48,416
2009	31,235	1,309,839	41,929	146	14,376	98,148	31,381	1,324,215	42,191

暦年	中国			アメリカ合衆国			オーストラリア			その他			計		
	輸入量 (MT)	輸入額 (千円)	単価 (円/MT)												
2010	1,172	55,170	47,053	1,172	55,170	47,053	1,172	55,170	47,053	1,172	55,170	47,053	1,172	55,170	47,053
H22	1,368	61,281	44,810	1,368	61,281	44,810	1,368	61,281	44,810	1,368	61,281	44,810	1,368	61,281	44,810
H23	1,685	83,654	49,640	1,685	83,654	49,640	1,685	83,654	49,640	1,685	83,654	49,640	1,685	83,654	49,640
H24	4,555	246,954	52,020	4,555	246,954	52,020	4,555	246,954	52,020	4,555	246,954	52,020	4,555	246,954	52,020
H25	4,011	211,812	53,550	3	710	267,411	4,014	212,522	53,686	3,845	240,238	62,020	4,014	212,522	53,686
H26	3,845	240,238	62,020	3,845	240,238	62,020	3,845	240,238	62,020	3,845	240,238	62,020	3,845	240,238	62,020
H27	1,567	165,128	105,247	1,567	165,128	105,247	1,567	165,128	105,247	1,567	165,128	105,247	1,567	165,128	105,247
H28	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101
H29	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101	1,021	94,051	92,101
H30	253	32,916	12,976	253	32,916	12,976	253	32,916	12,976	253	32,916	12,976	253	32,916	12,976
H31	3,500	301,937	86,276	3,500	301,937	86,276	3,500	301,937	86,276	3,500	301,937	86,276	3,500	301,937	86,276
H32															

表3 そばの生産面積上位国の生産動向

countries	element	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
ロシア連邦	作付面積 (ha)	1,433,400	1,058,800	558,100	641,600	867,200	833,600	1,071,800	1,193,200	1,008,000	626,000
	収穫量 (トン)	997,600	574,360	302,480	525,350	649,560	605,640	865,243	1,004,433	924,110	564,040
	単収 (kg/10a)	70	54	54	82	75	73	81	84	92	90
中国	作付面積 (ha)	1,150,000	1,071,000	860,000	820,000	800,000	834,000	853,000	750,000	770,000	775,000
	収穫量 (トン)	1,950,000	1,250,000	968,000	1,340,000	900,000	750,000	500,000	400,000	250,000	200,000
	単収 (kg/10a)	170	117	113	163	113	90	59	53	32	26
ウクライナ	作付面積 (ha)	528,900	576,700	308,200	324,100	388,700	396,200	359,500	310,100	281,800	254,300
	収穫量 (トン)	480,600	387,600	209,400	310,900	293,600	274,700	229,200	217,400	240,600	188,600
	単収 (kg/10a)	91	67	68	96	76	69	64	70	85	74
米国	作付面積 (ha)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	66,000	68,000	83,000	83,000
	収穫量 (トン)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	66,000	68,000	83,000	83,000
	単収 (kg/10a)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
ポーランド	作付面積 (ha)	61,438	54,732	36,000	33,826	47,849	67,531	80,432	72,680	64,514	69,830
	収穫量 (トン)	73,384	58,661	40,042	37,657	61,697	72,096	54,161	84,236	68,726	81,226
	単収 (kg/10a)	119	107	111	111	129	107	67	116	107	116
カザフスタン	作付面積 (ha)	47,700	57,000	41,777	62,741	53,300	77,200	87,600	138,100	53,900	57,400
	収穫量 (トン)	28,700	44,900	29,647	48,424	52,387	43,700	58,930	81,400	16,570	62,000
	単収 (kg/10a)	60	79	71	77	98	57	67	59	31	108
ブラジル	作付面積 (ha)	47,000	47,000	45,000	45,000	45,000	46,000	47,000	48,000	48,000	
	収穫量 (トン)	50,000	50,000	48,000	48,000	48,000	50,000	51,000	52,000	52,000	
	単収 (kg/10a)	106	106	107	107	107	109	109	108	108	
日本	作付面積 (ha)	37,400	41,800	41,400	43,500	43,500	44,700	44,800	46,100	47,300	45,400
	収穫量 (トン)	28,500	26,000	25,400	26,800	20,400	31,200	33,000	26,300	23,200	15,300
	単収 (kg/10a)	76	62	61	62	47	70	74	57	49	34
フランス	作付面積 (ha)	15,057	22,371	27,439	36,860	41,071	36,593	32,000	32,945	34,200	36,900
	収穫量 (トン)	36,934	58,872	80,788	101,729	143,901	124,217	87,000	117,148	98,000	114,500
	単収 (kg/10a)	245	263	294	276	350	339	272	356	287	310
リトアニア	作付面積 (ha)	16,600	16,900	17,000	16,300	22,000	28,400	31,300	21,700	27,500	21,800
	収穫量 (トン)	14,700	12,700	10,600	14,700	13,000	15,700	8,900	20,900	20,900	14,700
	単収 (kg/10a)	89	75	62	90	59	55	28	96	76	67

出典：FAOSTAT (2011.1)

※1：2008年の生産面積上位国を基準に作成

※2：単収は本表の収穫量を作付面積で除したのもの。